

長月 愛南文芸

篠南川柳会

花満開目汁鼻汁花粉症

助手席で喋べるの一寸ガムテープ

デイサービス席を忘れて迷う古い

具だくさんこぼれる程の椀の汁

山芋汁隣の飯を借りて食べ

おみそ汁必ず入れる若布とうふ

さわらび短歌会

四回目のコロナワクチン受けるため

夫と揉めいるシャワーの順番

唄えなくなりし朝より幾月か

脳裏をよぎる昭和の歌・歌

時かけて我が手で洗い上げたれば

色濃く出でよ紫蘇の紫

もつちゃん

安子

千代子

さつき

ちずる

みち子

四回目のワクチン打ちし身の気怠く

昼を臥しおれば雨足激し

暮れゆけば庭にさやけき風立ちて

のうぜんかつらの花を零しぬ

やや動く妬心あれども抑へつつ

叙勲受けしとふ友の文読む

地に落つる椿の音さえ聞こゆるほど

幼児帰りし後の静けさ

「一の会」の友らに吾は支へられしに

コロナで会へざり二年会へざり

実のなりし蜜柑にふたたび花の咲き

放置されたる畑うごきだす

麦田さんを麦ちゃんと呼ぶ看護師は

方言交えて髪洗いくれぬ

松本マス子

菊川俳句会

よせるたびまた膨らんで祇園波

炎天や廃墟に眠る家族愛

月光のひたひた水脈となる果樹へ

喫茶店メロンソーダとジャズの音と

秋まつり鯛選る浜のさんざめき

子の塾の迎え終わって呑むビール

アゲハ蝶今日は翔ぶのをやめようか

いつもより少し静かな夏祭り

空蟬の寂し主を固く待つ

筆筒より出しては仕舞う訪問着

母を偲びて手放せずおり

母を偲びて手放せずおり

よせるたびまた膨らんで祇園波

炎天や廃墟に眠る家族愛

月光のひたひた水脈となる果樹へ

喫茶店メロンソーダとジャズの音と

秋まつり鯛選る浜のさんざめき

子の塾の迎え終わって呑むビール

アゲハ蝶今日は翔ぶのをやめようか

いつもより少し静かな夏祭り

空蟬の寂し主を固く待つ

河上 明美

中川 一喜

安岡留美子

浅野勇一郎

福田 迦恋

兵頭 嘉寛

和田 靖樹

和 海音

前田 昭夫

生田八寿子

前田 知子

澤近 正弘

藤井 擴

前田 充

松本マス子

はじめまして。赤ちゃん。

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※右記7月受け付け分(敬称略)情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。

死亡後の手続きについては町ホームページをご覧ください。



愛南町ホームページ